

第17回韓国・培花女子大学訪問研修プログラム体験記

こども学科2年

11月9日から15日まで7日間韓国へ訪問研修に行ってきました。とても楽しかった7日間を初日から順に巡って行きたいと思います。

初めての海外！念願の韓国！ということもあり、飛行機に乗る前から大興奮の中韓国へと出発しました。韓国へは、約2時間30分程飛行機に乗り、機内では映画を観ながら機内食を食べました。到着後はバスに乗りホテルへ向かいました。ソウルは北海道よりも暖かく、私は冬用の厚手のコートを着て行ったので「失敗したな～」と感じました。初日は移動日ということでソウル市内を巡ることは出来ませんでしたが、美味しいカルビタンやキムチ、カクテキを食べ大満足の韓国研修初日でした。

2日目は景福宮、国立民族博物館、大学内にて歓迎会、培花女子大学の先生方との昼食会、金箔体験、韓服の着付け体験、夕食に大好きなビビンパ、夕食後にソウル市内で行われていたランタンフェスティバルへ行くなど、盛り沢山な1日でした。中でも、着付け体験はとても楽しく思い出に残っています。実際に、韓服を着たということも、もちろん嬉しかったのですが、結婚式の韓服を一から着付ける様子を間近で見させていただいたことがとても楽しく、興味深く感じました。学生の皆さんが実際に作った韓服などの展示も見させていただき、韓国の伝統文化を肌で感じた1日でした。



3日目は、韓国伝統調理の講義を受講し、伝統調理学科の学生の皆さんと調理実習を行いました。お互い言葉がわからないながらも、なんとかコミュニケーションを図りつつ楽しく実習をすることが出来ました。私は、あまり料理が上手ではないのですが、上手だよ！Ok! と声をかけてくれたり、11月11日がペペロデイということで大きいペペロをプレゼントしてくれたりと仲良くなることができ、とても嬉しく、良い経験でした。その後、ホストファミリーと昼食をし、培花幼稚園を見学しました。幼稚園見学は、研修前からとても楽しみにしていました。子どもたちが、日本語の歌で歓迎をしてくれてとても感動し



ました。園長先生から、日本人のお母さんを持つ女の子が居てそのお母さんに手伝ってもらいながら、私たちのために一生懸命練習したのだと聞き、本当に嬉しく感じました。園内を見学していて、教材の豊富さと、日本語の絵本「おおきなかぶ」が置いてあったことに驚きました。特に、教材は子どもの制作活動を行う上で大切なので、身近な物を無駄なく利用するという点がとても参考になりました。今後、

保育の現場で活かしたいと思います。見学の後は、ホストファミリーの子のお家へバスで向かいました。韓国のバスは乗ったらすぐに発車するとは聞いていたのですが、予想していたよりも急停車、急発進が激しく荷物を抱えて乗るのはとても大変でした。ですが、ホストファミリーの子に助けてもらいつつなんとか無事到着することが出来ました。それまで、人見知りをしてしまいあまりお話をすることが出来ずにいたのですが、バスの中で沢山お話することができ、大変な面もありましたが楽しいバス移動でした。夜には、「ロミオとジュリエット」の演劇を観に行きました。言葉が分からず理解が難しい部分もありましたが、知っている単語を聞き取りつつ、分からない部分を通訳してもらってなんとか楽しんで観ることが出来ました。とても実践的でよい韓国語の勉強になったと感じています。



4日目は、明洞、木洞など様々場所に行きました。明洞では、あちらこちらで流暢な日本語が聞こえ、とても驚きました。私も負けていられない！韓国語を勉強しなきゃ！と思いました。お昼は、念願のトッポキを食べました。韓国に行ったら絶対に食べたいと思っていたのですが、期待通り本当に辛くて美味しかったです。餅（トック）の他にラーメンやチーズ、野菜など2人で食べるには多いくらい具たくさんでした。しめには、お店の方が鍋にご飯を入れてチャーハンを作ってくれたのですが、お腹いっぱいでも少ししか食べることが出来ずとても残念でした。その後、買い物をしてホームステイ宅に帰宅後ホストファミリーの皆さんと焼き肉を食べに行きました。日本では今食べることの出来ないユッケを食べることができとても得した気持ちになりました。ご飯を食べながら、お父さんやお母さん、妹さんとお話をしたり、お父さんにお酒を注いだり、ホストファミリーの皆さんとの夜ご飯はとても楽しかったです。

5日目は、朝から大荷物を抱え出発しました。大量の荷物をなんとかロッカーに預け、仁寺洞、南大門、弘大、梨大などに行きました。中でも、梨大では素敵な服屋さんを発見したり、親切なおばさんが居る美味しいチキン屋さんを発見したり、ゆっくりと楽しく巡ることができ、是非また行きたいと思いました。あまりにも素敵なお店が沢山あったので、思わず洋服を買いすぎてしまい、荷物がさらに大量になってしまいホテルまで持っていくのが本当に大変でした。また、ホテルに向かう前にロッカーの場所に辿り着けないというハプニングもあり、ゆったりしていた午前中とは打って変わって、夜は慌ただしく過ぎて行きました。ですがソウルの街中を大量の荷物を持って猛ダッシュしたこともまた、良い思い出の1つであると感じています。この日でホストファミリーの皆さんとお別れだったので、お別れするのがとても名残惜しく、是非またお会いしたいと思いました。お父さん、お母さん、妹さんは日本語が話せず、私も韓国語が話せないので通訳してもらいながらの会話だったのですが、私がもう少し自分で勉強しておけばもっと直接会話できたのにと本当に残念に思いました。特にお父さんには、とても可愛がっていただいたの

で、次にお会いする時まで韓国語を猛勉強して是非韓国語でお話したいと思いました。

6日目は民族村見学、明洞で自由時間、夕食後コリアンハウスにて公演を観覧しました。民族村を見学後、明洞での自由時間は当初予定に含まれておらず、もう一度明洞で買い物をしたいと思っていたので、とても嬉しいサプライズでした。時間はわずかでしたが、改めて行くとまた違った発見もあり有意義に過ごすことが出来ました。韓国での最後の晚餐は、プルコギでした。みんなで6日間の話をしながら楽しく食事をすることが出来ました。食事のしめには、先生や案内をしてくださった方、研修に参加した全員とコーラで乾杯をしました！！日本に帰りたくない！！と心から思いました。食事の後、コリアハウスへ行きました。コリアハウスでは、様々な伝統芸術が行なわれていました。特に私は、五鼓舞という演目とプンムルノリという演目が印象的でした。五鼓舞は5人の美女が太鼓を打ちながら踊る演目なのですが、一糸乱れぬ演奏、そしてぴったりと息の合った踊りが本当に美しく素晴らしいと感じました。プンムルノリは、民族村でも、同様の演目を目にしても印象的であったのもう一度見てより興味を持ちました。この演目は男性で行なわれており、首を振って頭に付いている紐を回転させる場面が特に印象深く、簡単そうに見えて意外と難しいのだろうと感じました。日本では中々見る事が出来ない伝統芸能を身近で、席も中心で見ることが出来て貴重な経験でした。

7日目は、朝早くからバスに乗り美味しいサンドウィッチを頬張りつつ仁川空港に向かいました。朝が早かったこともあり韓国を離れたくないという名残惜しさと睡魔をかんじながら日本へ飛び立ちました。飛行機の中では予想通り爆睡でした。もう少し機内を満喫すれば良かったかな？と、今感じています。あっという間に日本に到着し外に出ると本当に肌寒く、ここで初めて冬用の厚手のコートを着て来て良かったと思いました。

一週間を振り返ると本当に充実した期間であったと思います。充実していたからこそ時間の経過もとても早く感じられました。短い期間ではありましたが、今まで経験したことのないものに沢山触れ、沢山の人に出会い、新たな発見をし、次への目標も見つけることが出来ました。最初にも書いたように、初めての海外であったので緊張した部分もありましたし、不安や心配も多々ありましたが実際に韓国へ行ってみると楽しさのあまり全てを忘れていたように思います。今回の研修を行うにあたり、沢山の方々にご協力をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。沢山の良い思い出や経験、学んだことを忘れずに今後活かすことで恩返ししていきたいと思います。そして、沢山の人に韓国の良さ、日本との違い、実際に行って感じたことを話して韓国は素晴らしい国であると知ってもらいたいと思いました。本当にこの研修に参加して良かったと心から感じています。